

パソコンいわくら教室新聞

何かわからないこと、何かの情報：様々のことはネット検索で調べることが殆どになりました。スマホを常備しているとなおさらです。でも、たどり着いてますか？

Google に聞こう！

グる、ネット検索でキーワードなどを入力し情報を探そう言ったりします。

これは、検索するときにキーワードを入力するWebページがGoogleが提供している検索ページを使っているからです。その他の検索ページを使っても総称してネット検索をすることを指したりします。

最近では、生成AIも進歩してきて、数種類のAIが使えます。Googleの「Gemini」、Microsoftの「Copilot」、OpenAIの「ChatGTP」などがあります。

生成AIを使う情報検索では、学習したデータと膨大なネット上のデータから回答を作成してくれます。情報を探すことはAIが行いますので、ものの数秒で回答を得られます。ですが、その回答の元データが古かったり、誤った情報だったり、信憑性を疑う場合もあります。

一方従来型のGoogleなどの検索ページに、キーワードを入力し検索する方法では、自分の目で確かめられますので、その情報の出どころや日付など確かめながら探せます。その一方で手間が掛かります。

どちらも一長一短ですので、上手に使い分けることが大事でしょう。

Google 検索

キーワードで検索した結果、表示される関連するページの一覧から自分の目で探す



AIにキーワードでたずねてみると、情報をまとめてくれ、要約を表示してくれる



生成 AI「Gemini」

Googleでの検索方法を見てみましょう。（他の検索ページでもほぼ同様です）

① キーワードで検索

一つのキーワードでは、情報が絞り込めず表示されるものが多すぎる結果になります。北海道の旅などの情報を検索するのに「北海道」と入力しても、北海道とつくものすべての情報が表示されるので、とても探しきれません。

「札幌△観光」など複数のキーワードを「スペース」で区切って入力すると、候補も絞り込めます。

② キーワードが思い浮かばない

一旦何かのキーワードで検索した後に、フィルターボタンを使用することで絞り込みが可能です。



③ 更新日でも絞り込む

情報には当然古い内容も含まれますので、ページ上部の「ツール」メニューから期間指定することもできます。

新しいページを検索するならば「1年以内」など情報も加えることができます。

どちらにしても情報を探し出すには多少の間は掛かります。少しでも早く目的に到達したいものです。

教室のWebページは左記アドレスから、スマホからはQRコードからどうぞ。新聞バックナンバーもご覧いただけます。

<https://pc-iwakura.com/>

See you next month

